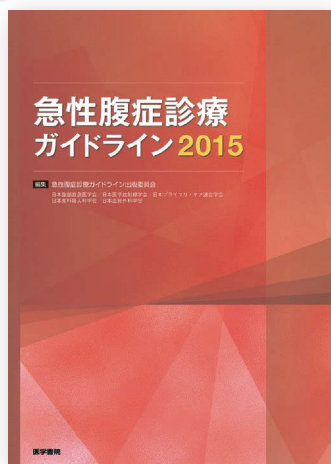


今月の特集関連本 ②

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.503) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



急性腹症診療ガイドライン 2015

急性腹症診療ガイドライン出版委員会＝編集

本体 3,800 円＋税／A4 判・188 頁／医学書院／2015

臨床で遭遇する機会の多い急性腹症患者に対する診療ガイドライン。症状と初期対応を重視し、限られた時間のなかで的確に対応するための情報を盛り込んだ。疫学、問診、身体所見、検査の記載も充実。関連学会（腹部救急医学会、医学放射線学会、プライマリ・ケア連合学会、産科婦人科学会、血管外科学会）の豊富な経験と英知を結集した、医師必携の 1 冊。



「おしりの病気」アトラス [Web 動画付]

見逃してはならない直腸肛門部疾患

稲次直樹＝著

本体 8,500 円＋税／A4 判・256 頁／医学書院／2019

便秘や痔など、総合診療医にも馴染み深い「おしり」の症状。また、直腸癌などの直腸肛門部疾患が増え続けています。しかし、肛門外科の専門医は医師総数のわずか 0.1%（2018 年医師・歯科医師・薬剤師調査の概況）。総合診療医にもこれを診断、時に治療することが求められます。本書は、地域医療一筋で肛門を診てきた著者が半世紀にわたる治療記録をベースに、見逃してはならない疾患を約 1,250 の症例写真とイラストでまとめた「直腸肛門部疾患のバイブル」です。「おしり」の身体診察の際の座右に！

腹痛の「なぜ？」がわかる本
痛みのメカニズムがみえれば診療が変わる！

腹痛を「考える」会＝著

本体 4,000 円＋税／A5 判・264 頁／医学書院／2020

なぜ、この部位が、こんなふうに痛むのか？ そのメカニズムがわかれば、腹痛診療のレベルはグイッと上がる！ 謎多き腹痛の「なぜ？」をとことん考え抜き、その病態を鮮やかに説き起こした。それに基づく臨床推論は論理的かつ説得力があり、まるでお腹の中をみてきたかのよう。持続痛・間欠痛・消長痛といった痛みの種類による主訴の違いや陥りやすいピットフォールなど、日々の臨床に役立つポイントも盛りだくさん。「腹痛」を診るすべての医師にとって必読の、画期的実践の書が誕生した。